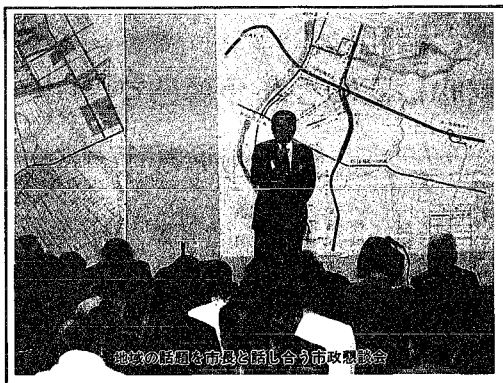
第章 個性ある文化をはぐくみ、豊かな心がのびのび育つ 文化創造都市


地域の話題を市長と話し合う市政懇談会

市民参加

開かれた市政運営を目指し、審議会、委員会など政策形成過程への市民参加の機会を一層拡充するとともに、住民の声が十分反映される地域レベルの市民参加の仕組みを検討します。また、文化・福祉などの分野における市民のボランティア活動への参加を促進・支援します。

市政情報の公開・提供を推進

また、市民との対話を市政の基本方針として、市報にいがた、市民相談事業など、広報・広聴機能の一層の充実を図るとともに、情報公開・情報提供を推進し市民参加の条件整備を図ります。

コミュニティ

西新潟市民会館を建設

近隣の人と人とのつながりやふれあいのあるコミュニティづくりのため、市民の自主的な活動の支援やコミュニティ意識の醸成などに努めます。

また、コミュニティ施設として、西新潟市民会館（小針二）やコミュニティセンターを二カ所整備するほか、新たに地域に密着したコミュニティ施設を七カ所設置します。

男女平等教育の実践

文化創造都市は…

○性別・年齢にかかわらずお互いを尊重し、主体的に知恵を出し合い、連帯してつくるまち
○明日を担うすべてのこどもをはじめ、すべての人が生涯にわたり自らを育て、互いの個性を開花させ、はぐくむ心を持ったまち
○新潟の優れた特性を受け継ぎながら、世界の人々との交流により新たな文化を創り、市民生活に芸術やスポーツが溶け込み、文化の薫り高い創造的なまち

男女共同参画

女性センターを強化

男女共同参画型社会の形成に向け、「女性行動計画」の着実な推進を図り、活動の拠点となる女性センターの機能の充実に努めます。

さらに、今年十月に開催する「日本女性会議95にいがた」の開催をはじめとして、学校・家庭・職場・地域などあらゆる機会を通じて、男女平等意識を啓発する施策や事業を推進します。

また、女性が働き続けるための条件整備や、審議会などへの女性の参画を促進します。

文化

新潟に根ざした文化の創造

文化のかおるまちづくりを推進するため、新潟の歴史・風土に根ざした文化の創造や、世界的水準の文化イベントを開催するとともに、より一層の文化活動の支援を図るため、新潟市芸術文化振興財団の基盤強化に努めます。

また、入門講座や質の高い鑑賞事業など、市民が文化に親しむ機会を充実するとともに、文化活動をプロデュースする人材を育成する劇場芸術講座などを開催します。

さらに、市民共有の財産である伝承文化・文化財などの保存と研究を進め、市民が郷土に対する関心と理解を深めることができるよう、文化遺産の積極的な活用を図ります。

文化活動の拠点に 市民文化会館

文化活動の拠点施設としての市民文化会館（白山地区）の建設や、歴史・文化情報の発信基地としての新郷土資料館（緑町）の建設など、文化施設の整備・拡充を進めます。

生涯学習

中央図書館を整備 生涯学習センター

多様化・高度化する市民の学習要求に対応するため、学習情報システムの構築や相談窓口の設置、学習活動を支援できる人材の養成・活用を行うとともに、市民大学の一層の充実を図ります。また、生涯学習の中核的施設として、生涯学習センターや中央図書館などを整備するとともに、地域住民が共に学び、共に活動できる身近なコミュニティ・学習施設として、学校施設の有効活用を図ります。

自然と親しむ場「青少年三川自然の森」

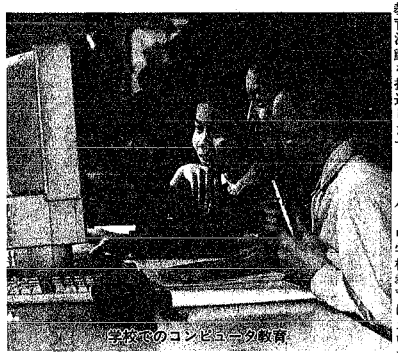
地域の活動に 学校施設を活用

心豊かでたくましい青少年を育成するため、青少年体験学習の充実を図るとともに、青少年のいきいきとした活動と創造性を育む施設として、青少年海の家などの整備を行います。

学校教育

個性と創造性を育成

二十一世紀を担う子どもたちの個性と創造性の育成のため、教育環境の改善を図るとともに、社会情勢の変化に対応した教育活動を推進します。


学校でのコンピュータ教育

このため、幼児教育においては、体験活動が十分行える環境づくりや、私立幼稚園への助成などを引き続き行います。

小・中学校教育においては、学校の適正規模の確保に努め、集いの木の部屋などゆとりと潤いの空間を持たせた施設の整備を図ります。

コンピュータ教育を推進

また、国際理解教育やコンピュータ教育など社会の進展に対応した教育や、集団宿泊体験学習など自然や人とのふれあいを深める教育を進めます。

さらに、登校拒否（不登校）やいじめ問題などに対応するため、教育相談体制の充実を図ります。

単位制高等学校 導入を検討

高等学校教育においては、目的に応じて、コース・単位を選択することのできる単位制高等学校や、新学科導入の検討を行います。

養護学校などの施設・設備の充実に努めるとともに、社会的適応力を伸ばすための交流教育の推進など、心身障害児教育の充実を図ります。

そのほか、児童・生徒の健康を守るため、健康診断の充実による病気の早期発見に努めるとともに今後の中学校給食のあり方について検討を進めます。

スポーツ・レクリエーション

生涯スポーツを振興

こどもから高齢者までがスポーツに親しむ生涯スポーツの振興に向け、地域の組織づくりを進めるとともに、ソフトバレーボールなどのニュースポーツの普及や、新潟マラソン大会など市民が気楽に参加できるイベントの充実を図ります。

東総合スポーツセンターを整備

二〇〇二年ワールドカップサッカーをはじめ、国際的なスポーツ大会などの開催に対応するため、県と連携を図りながら、鳥屋野潟公園総合スポーツゾーンなどの基幹的施設の整備を進めます。

また、東総合スポーツセンター（山木戸・寺山地内）、西総合スポーツセンター屋内プールなど、市民が気軽に利用できる地区施設を整備します。